

2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年4月2日 東

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所
 コード番号 5932 URL <https://www.st-grp.co.jp/>
 代表者(役職名)代表取締役社長 社長執行役員(氏名) 山下 清胤
 問合せ先責任者(役職名)執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122
 四半期報告書提出予定日 2020年4月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	236,314	△6.2	1,878	262.6	1,900	148.3	△649	—
2019年5月期第3四半期	251,930	4.5	518	△38.9	765	△41.5	△417	—

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 287百万円(—%) 2019年5月期第3四半期 △783百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	△20.69	—
2019年5月期第3四半期	△13.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	262,068	81,888	30.0
2019年5月期	262,426	82,087	30.2

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 78,673百万円 2019年5月期 79,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2020年5月期	—	10.00	—	—	—
2020年5月期(予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日~2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	318,000	△5.9	2,500	238.7	1,800	192.2	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期3Q	31,554,629株	2019年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	187,976株	2019年5月期	182,884株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期3Q	31,369,198株	2019年5月期3Q	31,376,010株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や欧州・中国の景気の弱さが継続しました。

わが国では、消費税増税前の駆け込み需要の反動減や大型台風による災害などが起こるなか、消費支出が減少するとともに、新設住宅着工戸数の減少や鉱工業生産が弱含むなど、国内経済は停滞感の強い状況となりました。

また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の深刻化により経済への影響が発生する状況となり、先行きの不透明感が高まりました。

このような環境下、当社は将来の市場構造変化に対応する事業ポートフォリオの構築に向け、基本方針を『変革と価値創造～安定かつ成長可能な事業構造へ～』とする2019年5月期から2021年5月期までの中期経営計画を推進し、「収益改善」「成長事業、グローバルシナジーの拡大」「次なる事業領域の開拓」に向けた諸施策の展開を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,363億14百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益18億78百万円（前年同期比262.6%増）、経常利益19億0百万円（前年同期比148.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失6億49百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失4億17百万円）となりました。

なお、当社は国内における中核生産資源であるアルミニウム押出型材生産部門の全体最適化を目的とし、建材事業とマテリアル事業の押出型材生産部門を2019年6月1日付でマテリアル事業に集約・再編いたしました。

これにより、第1四半期連結会計期間より、従来「建材事業」に含めておりました基幹押出型材生産工場（射水工場）を、「マテリアル事業」に報告セグメントの区分を変更しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建材事業

建材事業においては、消費税増税後の反動減や前年度に発生したエクステリア分野での災害復興需要が収束したことなどにより、売上高1,467億99百万円（前年同期比3.6%減）となりました。利益については、販売部門、生産部門での収益改善を進めたこと、またアルミニウム地金価格が前年度より低い水準で推移したことなどにより、セグメント利益35億44百万円（前年同期比357.9%増）となりました。

マテリアル事業

マテリアル事業においては、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大による中国経済への影響などを背景に、アルミニウム型材市場の需要が減少したこと、厳しい競争環境、アルミ地金市況に連動する売上の減少などにより、売上高300億0百万円（前年同期比12.6%減）となりました。利益については、受注量の減少や操業度の低下などにより、セグメント利益10億49百万円（前年同期比50.5%減）となりました。

商業施設事業

商業施設事業においては、小売業の人手不足を背景とした省人化・省力化投資などの需要獲得はあったものの、新規出店需要が減少したことなどにより、売上高284億23百万円（前年同期比4.7%減）となりました。利益については、業務効率化による収益改善を進めたことなどにより、セグメント利益1億92百万円（前年同期はセグメント損失81百万円）となりました。

国際事業

国際事業においては、タイでの業績は堅調に推移した一方、欧州では経済の減速を背景とした自動車生産台数の減少や機械関連などの需要減少により、売上高310億0百万円（前年同期比12.5%減）となりました。利益については、欧州での売上減少や操業度の低下などにより、セグメント損失27億61百万円（前年同期はセグメント損失21億82百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億57百万円減少し、2,620億68百万円となりました。これは、仕掛品等のたな卸資産が29億20百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が22億4百万円、現金及び預金が6億10百万円、のれんが5億91百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億58百万円減少し、1,801億79百万円となりました。これは、短期借入金が27億33百万円、賞与引当金が16億74百万円、それぞれ増加したものの、長期借入金が25億26百万円、支払手形及び買掛金が23億62百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。なお、純資産は818億88百万円、自己資本比率は30.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2019年7月11日に公表いたしました2020年5月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年4月2日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,685	26,074
受取手形及び売掛金	49,348	47,144
電子記録債権	5,225	4,980
有価証券	892	1,084
商品及び製品	16,555	16,757
仕掛品	17,207	19,939
原材料及び貯蔵品	11,724	11,712
その他	5,623	6,373
貸倒引当金	△1,243	△1,023
流動資産合計	132,021	133,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,568	24,193
土地	54,230	54,269
その他(純額)	24,328	24,170
有形固定資産合計	103,127	102,634
無形固定資産		
のれん	3,457	2,865
その他	3,055	2,789
無形固定資産合計	6,512	5,655
投資その他の資産		
投資有価証券	16,247	16,093
その他	5,125	5,233
貸倒引当金	△609	△589
投資その他の資産合計	20,764	20,736
固定資産合計	130,404	129,025
資産合計	262,426	262,068

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,728	42,365
電子記録債務	18,452	18,968
短期借入金	4,707	7,441
1年内償還予定の社債	—	3,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	7,501
1年内返済予定の長期借入金	12,648	13,097
未払法人税等	1,300	475
賞与引当金	388	2,062
引当金	28	36
その他	19,109	19,736
流動負債合計	101,364	114,686
固定負債		
社債	3,000	—
転換社債型新株予約権付社債	7,507	—
長期借入金	42,055	39,528
役員退職慰労引当金	11	8
製品改修引当金	993	733
退職給付に係る負債	17,167	16,998
資産除去債務	451	456
その他	7,787	7,766
固定負債合計	78,973	65,492
負債合計	180,338	180,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	32,828	32,828
利益剰余金	27,062	25,941
自己株式	△236	△242
株主資本合計	74,654	73,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,935	2,119
繰延ヘッジ損益	△430	△460
土地再評価差額金	3,834	3,834
為替換算調整勘定	△486	△149
退職給付に係る調整累計額	△378	△197
その他の包括利益累計額合計	4,472	5,146
非支配株主持分	2,961	3,215
純資産合計	82,087	81,888
負債純資産合計	262,426	262,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)
売上高	251,930	236,314
売上原価	200,732	184,631
売上総利益	51,198	51,682
販売費及び一般管理費	50,679	49,803
営業利益	518	1,878
営業外収益		
受取利息	24	25
受取配当金	302	336
スクラップ売却益	460	481
持分法による投資利益	152	258
その他	833	553
営業外収益合計	1,773	1,654
営業外費用		
支払利息	443	418
売上割引	719	684
その他	362	530
営業外費用合計	1,525	1,633
経常利益	765	1,900
特別利益		
固定資産売却益	20	15
投資有価証券売却益	14	0
その他	2	0
特別利益合計	38	16
特別損失		
固定資産売却損	12	11
固定資産除却損	142	224
減損損失	0	—
投資有価証券評価損	61	650
その他	—	0
特別損失合計	216	886
税金等調整前四半期純利益	587	1,030
法人税等	805	1,410
四半期純損失(△)	△217	△379
非支配株主に帰属する四半期純利益	199	269
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△417	△649

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純損失(△)	△217	△379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,098	187
繰延ヘッジ損益	△148	△29
為替換算調整勘定	5	329
退職給付に係る調整額	681	179
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△1
その他の包括利益合計	△565	666
四半期包括利益	△783	287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△979	25
非支配株主に係る四半期包括利益	195	261

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	152,252	34,345	29,823	35,418	251,839	91	251,930	—	251,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,486	28,580	156	104	31,328	—	31,328	△31,328	—
計	154,739	62,925	29,980	35,523	283,167	91	283,259	△31,328	251,930
セグメント利益又は 損失(△)	774	2,122	△81	△2,182	633	70	704	△185	518

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△185百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△200百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の買収時に締結していた株式売買契約に基づく条件付取得対価の支払が確定したことにより、新たにのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの償却額は527百万円、当第3四半期連結会計期間末におけるのれんの未償却残高は833百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	146,799	30,000	28,423	31,000	236,224	89	236,314	—	236,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,696	26,591	52	55	29,395	—	29,395	△29,395	—
計	149,496	56,592	28,475	31,055	265,619	89	265,709	△29,395	236,314
セグメント利益又は 損失(△)	3,544	1,049	192	△2,761	2,026	△108	1,917	△38	1,878

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、農業分野事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△38百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△49百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は国内におけるアルミニウム押出型材生産部門の全体最適化を目的とし、建材事業とマテリアル事業の押出型材生産部門を2019年6月1日付でマテリアル事業に集約・再編いたしました。これにより、第1四半期連結会計期間より、従来「建材事業」セグメントに含めておりました基幹押出型材生産工場(射水工場)を、「マテリアル事業」セグメントに報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。